

商品番号 490037

BZ003 ステンレス火消し壺

⚠️ ご使用上の注意

- 本製品は火のついた木炭を消火するために使用するものです。それ以外の用途に使用しないでください。
- ご使用中にハンドルがぐらついてきた場合、そのままご使用になりますと脱落による事故の原因になりますのでご使用を中止してください。
- 使用前にガタツキや変形、破損がないことを確認してください。ガタツキ、変形、破損がある場合、水漏れの原因になります。
- 本体の縁まで水等を満した状態で使用しないでください。水漏れの原因になります。
- 火のついた炭を入れた状態で水をかけないでください。製品が変形する場合があります。
- フタ裏のシリコンゴムパッキンにゴミ等が付着したままで封をしないでください。不完全な密閉となり、水が漏れる恐れがあります。
- 不意の水漏れにそなえ、汚れても良い場所、濡れても良い物のそばに置いてください。
- 落としたり、硬いものにぶつけるなど無理な力や衝撃は与えないでください。製品の変形や破損の恐れがあります。
- みがき粉やたわしで洗うと傷がつく場合があります。
- 水気や汚れが付着したままや、異種金属と接触させたまま放置しないでください。また湿気の多い場所で保管しないでください。サビの発生原因となります。
- 小さなお子様の手が届かない場所に保管してください。
- 火のついた炭を入れた際に、本体やフタが大変熱くなります。耐熱グローブ等を着用し直接触れないように注意してください。特にお子様の手に触れることのないようにご注意ください。

炭の火の消し方

水を使う場合<推奨>

- 1.メッシュバスケットをセットした火消しの中に水を 8 分目程度入れます。
2. Tong等を使って火のついた炭をゆっくり水の中に入れます。
- 3.十分に消火したことを確認して、水を捨てます。水を捨てずにフタをしっかりと封することで水を入れたまま運搬することもできます。
- 4.メッシュバスケットごと炭を風通しの良い場所に置いて、炭を乾燥させます。

- 高温の炭を水に浸けると水蒸気が発生したり、お湯がはねたりする場合があります。グローブを着用する等して、やけどに注意してください。

乾燥させた炭は再使用できます！※炭の種類によって、再使用できないものがあります。

水を使わない場合

- 1.火消しの中に火のついた炭を入れます。
- 2.フタをして、壺の中を酸欠状態にします。
- 3.消火するまで放置します。

- 火のついた炭を入れた際に、本体やフタが大変熱くなります。耐熱グローブ等を着用し直接触れないように注意してください。

フタが開きにくい場合の対処法

- 水での消火を推奨しておりますが、炭をそのまま消火する場合、熱が冷めると空気が収縮しフタが開きにくくなる場合があります。
- 開きにくい場合は、フタの孔につまようじ等の尖った先端をフタとパッキンのすき間に押し込むように押し入れて空気を容器内に入れ、開けてください。(空気が入りフタが開くようになるまで 5 分ほどかかる場合もございます。)

アフターサービス

- ★誤ったご使用方法による故障や事故に関しては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ★部品交換など修理のご依頼は当社までお問い合わせください。
- ★品質には万全を期しておりますが、万一商品に不具合があった場合や、お気付きの点がございましたら当社までご連絡ください。

※製品改良の為、予告なく仕様を変更する場合があります。ご了承ください。



発売元
株式
会社

新越ワークス

UNIFLAME 事業部

本 社：〒959-0223 新潟県燕市田中新1011
TEL(0256)63-9851 FAX(0256)63-6553

UNIFLAME Biz

<https://uniflamebiz.theshop.jp>



UNIFLAME ホームページ



UNIFLAME Bizホームページ